



## 歌津の賑わいが新しく 伊里前福幸商店街 新築工事 起工

10月19日(水)、伊里前福幸商店街の新築工事起工式が執り行われました。同商店街は、震災の年である平成23年12月から営業を開始していましたが、新設する用地の盛土工事を進めるため、今年2月から現在の場所に移転して営業を行ってきました。新しい商店街のデザインは、さんさん商店街に引き続き、新国立競技場の設計も手がけた隈研吾建築都市設計事務所が行い、木がふんだんに使われた心癒す造りとなりました。店舗数は、現在の仮設店舗で営業している6店舗に新規出店を加えた8店舗が入る予定で、新商店街の完成に期待が寄せられます。



隈研吾建築都市設計事務所提供



## 数え100歳 百寿のお祝い

満99歳を迎えた佐藤さくえさん(㊤押館)に10月31日(月)、町から百寿のお祝い金と花束が贈られました。

佐藤さんは、南三陸町志津川秋目川で生まれ、6人の子ども、6人の孫、2人のひ孫に恵まれました。

長生きの秘訣を伺ったところ、よく動き・食べることだと佐藤さんは話します。お話し好き、お世話好きで、現在利用している小規模多機能ホームでも、職員に対し気遣いやねぎらいの言葉をかけているそうです。これからもお体を大事にお過ごしください。

## 知ろう、学ぼう、考えよう 人権教室

10月26日(水)、戸倉保育所と戸倉小学校において人権教室が開かれました。子どもたちに人権について考えてもらおうと南三陸町と気仙沼市の人権擁護委員が開催しました。戸倉保育所では、人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」が参加し、園児らとじゃんけんゲームや紙飛行機、紙芝居などをして、一緒に楽しむことを通し、友達と仲良くすることの大切さを学びました。また、戸倉小学校では、人権擁護委員が講師となり、いじめについての授業を行い、児童達はいじめをなくすためにはどうしたらいいのかを真剣に考え、改めて人権について考える機会となりました。



## 代々受け継がれる 子ども相撲大会

10月30日(日)、林地区において子どもの相撲大会が行われました。この相撲大会は、地区内にある神社の縁日(旧暦10月1日)の前夜に、奉納相撲として行われてきました。相撲を取る前に参加者全員で神社にお参りをし、神社の裏の林の中にある土俵に向います。昔は東と西に分かれてリーグ形式で試合をしていた頃もあったそうです。この日は、林・大久保地区内の小学生約10名が相撲に参加し、地域住民の声援の中、力のこもった戦いが土俵の上で繰り広げられました。



## 町の恵みが一堂に会する 産業フェア

10月30日(日)、ベイサイドアリーナ特設会場において南三陸町産業フェアが行われました。各産業が一堂に会する町の一大イベントですが、今年は同日に三陸沿岸道路の志津川インターチェンジが供用開始となることを記念し、盛大に開催されました。水産部会では、銀ザケの刺身や鮭汁が無料で振るまわれたほか、友好町である庄内町からは庄内豚の丸焼きや芋煮などが提供され、来場者は秋の味覚を楽しみました。また、林業部会による模範上棟式終了後には抽選券入りの餅まきが行われ、会場はさらに盛り上がりしました。



## 地域の魅力が詰まった ひこころの里秋まつり

10月23日(日)、ひこころの里において秋まつりが開催されました。例年この時期に行われる本まつりは、地元の食材をふんだんに使った郷土料理の数々が軒をつらね、入谷地区に伝わる郷土芸能の披露も行われます。当日は開会時間前から人が集まり、おはぎや手打ちそばなどが振る舞われた屋台はたくさんの人で賑わいました。また、ステージでは入谷小学校の児童による打囃子が披露されたほか、大正大学の学生による早食い競争などの企画なども行われ、会場をより盛り上げていました。

